

## 大阪の自転車利用者、なぜ多い

大阪に転居してから5年半余り。名古屋との違いに驚くことも多かったが、その一つが自転車利用者の多さである。地元の淀川区だけでなく、とりわけ地下鉄あびこ駅周辺で、自転車を利用する人を目にする。日本経済新聞6月27日夕刊「とことん調査隊」が表題について伝えていたので、抜粋して紹介したい。

一般財団法人「自転車産業振興協会」が2022年に公表した調査によると、1世帯当たりの自転車保有台数は、都道府県別にみると大阪が1.36台で最も多くなった。高知(1.29台)、埼玉(1.27台)と続く。全国平均は1.03台で、近畿では京都(1.17台)や兵庫(1.09台)がそれを上回るなど、総じて多い傾向にある。その中でも大阪が群を抜いている。

大阪府内の自転車販売会社にも話を聞くと、「大阪は自転車に乗っている人が多いと感じるのはうなずける」と言われた。東京などと比べつつ「大阪は坂が少ない地形で、主立った施設が比較的密集している。公共交通機関は充実しているが、自転車での移動がより便利のためではないか」との解説があった。この調査で1世帯当たりの保有台数が最も少ないのは長崎(0.38台)だった。確かに、長崎市は坂の街だ。

国勢調査に通勤・通学で自転車を利用している割合のデータがある。公益財団法人「自転車駐車場整備センター」の調べでは、大阪は自転車のみで通勤や通学をしている比率が全国で唯一、20%を超える。2位の京都と5%の差をつけ、断トツだ。このデータからすれば、大阪は通勤や通学先と住居が比較的近い人が多いからではないかという理由も説得力がある。大阪府内で通勤・通学に自転車を利用している割合を比較すると、最も高い地域は大阪市生野区で41%に上る。門真市(40%)、大阪市平野区(39%)と続く。

一方で、自転車の利用で注意したいのが交通事故だ。大阪府警によると、府内で発生した事故のうち、自転車に関連した割合は22年に34.7%を占めた。5年前より3.9%増えている。4月には改正道路交通法が施行され、自転車に乗る際もヘルメットの着用が努力義務化された。大阪での快適な生活に自転車は欠かせない。マナーを守り、安全運転が根付いた「自転車の街」であってほしい。

大阪に転居してから、週末の買い物などに自転車を愛用するようになった。とりわけ足を痛めてから、自転車を利用することが多くなった。近所で中古自転車を手に入れたが、5年半一度もパンクしたことがない。良心的で話好きな自転車屋さんには、いつも感謝している。

自転車で困ったことがある。努力義務化されたヘルメットを手に入れようと探したが、わたしのように頭でっかちのサイズは見つからない。自転車利用者の大半もヘルメットを付けていないようで、まあいいかとも考えるが、万が一に備えてデカサイズを探そう。

(2023年7月2日)